

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら草加神明教室

保護者等数(児童数) 26 回収数 14 割合 54 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13件	1件	件	件	部屋を2つに分け、密にならないように工夫してもらっている。	コロナが収束しても部屋を分け子供達の活動スペースを多めに取れるようにしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11件	3件	件	件	専門的支援員(ST・OT等)が増えると嬉しいです。	心理職員が4月から配置される
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11件	3件	件	件	よく見てなく分からない。	必要に応じて検討していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14件	件	件	件	面談、電話で相談等してもらい作成してもらっている。	引き続き送迎の際職員が聞いた話も踏まえ作成していく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14件	件	件	件	様々なプログラムを毎月表でもらっている。	引き続き行なっていく
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2件	9件	2件	1件	コロナで機会がないのか、分からない。	コロナが収束後、検討していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14件	件	件	件	利用開始時に説明があった。	継続
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14件	件	件	件	送迎時によく話してもらっている。	継続
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13件	1件	件	件	面談、電話で相談等してもらい支援してもらっている。	継続
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	7件	6件	件	父母会がない方が助かります。参観日等があると嬉しいです。	コロナが収束後、希望されてる保護者様で検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11件	1件	1件	1件	・迅速な対応をしてもらっている。 ・もう少し体制を整備して欲しい。	迅速な対応を心がけ、何かあった際は管理者児発管で引き続き対応していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13件	1件	件	件	送迎時によく話してもらっている。	連絡帳だけではなくラインも利用する事で、より出来るようになってる。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13件	1件	件	件	こぼんだよりを楽しみにしています。	HPよりも毎月の便りで情報を発信出来ている。
14 個人情報に十分注意しているか	14件	件	件	件	そのように感じる。	継続	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12件	2件	件	件	コロナの際、説明を受けた。	訓練した際に伝えている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10件	4件	件	件	・プログラムで行なってもらっている。 ・よくわからない。	プログラムの中に入れ出来ている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14件	件	件	件	楽しく通えています。	継続
	18 事業所の支援に満足しているか	14件	件	件	件	子供達の事をよく考えて支援して頂いています。	継続

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら草加神明教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7件	件	コロナの兼ね合いもあり、訓練室を分けて支援している。	特になし
	2	職員の配置数は適切である	6件	件	利用者数によりシフトを調整している	適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2件	5件		現在バリアフリーを必要としている児童がいないが、必要に応じて対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件	1件	朝礼時等に全員が参加している。	引き続き行なっていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	件	保護者、事業所向け共にアンケートを取り、会議を開きHPで公開している	会議等で周知していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1件	3件	こぼんのHPで公表している。	知らない職員が多いので、会議等で周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	件		必要に応じて適宜行なっていく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10件	件	都合があれば様々な研修に参加している(オンライン等)	引き続き行なっていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11件	件	児発管が中心となり適宜行っている	引き続き行なっていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	件		使用しているが必要に応じて更新していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	1件	プログラム担当者と教室のリーダーと情報共有している	職員全員で同じ方向に向けられるよう、会議や朝礼時等を利用し工夫する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10件	件	月間のテーマを決め、様々なプログラムで固定化しないようにしている	引き続き行なっていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6件	件	児童に合わせて、また必要な課題を行なっていく。	引き続き行なっていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10件	件	児発管が中心となり適宜行っている	引き続き行なっていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10件	件	朝礼・昼礼時に行っている	引き続き行なっていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件	1件	朝礼・昼礼・終礼のいずれか1日2回行っている	送迎で遅くなった職員がいた場合、業務日報等記入してあるのを確認漏れがないようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11件	件	日々の記録取り以前の記録を読み次について考えている	引き続き行なっていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6件	件	児発管が中心となり適宜行っている	引き続き行なっていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6件	件		引き続き行なっていく。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4件	件		引き続き行なっていく。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10件	件	職員皆で確認・連絡を行っている	引き続き行なっていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1件	1件	受け入れ態勢を整え中	看護師の確保。喀痰吸引の研修を職員が受けている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4件	1件		引き続き行なっていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2件	2件	今までに該当者がいないが関連機関とは常に連携している。	過去に例なし。必要時に適宜行なっていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7件	件	児発管が中心となり適宜行っている	引き続き行なっていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2件	6件		過去に例がない為、方法が難しいがコロナ終息後、行なっていく方向で話しをしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	件	3件		知らない職員が多いので周知していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10件	件	送迎時に保護者と情報共有に努めている	引き続き行なっていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3件	2件	児発管が中心となり適宜行っている	過去に研修を受けているが、再度研修を行なって職員のレベルアップをし、ペアレントトレーニング等の支援につなげていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9件	件	管理者、児発管が適宜行っている	引き続き行なっていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9件	件	送迎時に保護者から相談があれば、適切な職員が対応している	引き続き行なっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2件	4件	情報収集する中でコロナ禍で望まない家庭が多い	コロナが収束後、希望される保護者様で検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	件	管理者、児発管が迅速な対応を心掛け、対応をしている	引き続き行なっていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11件	件	毎月こぼん便りを発行し配布している	引き続き行なっていく。
	35	個人情報に十分注意している	12件	件	持ち出さない様に、また取り扱いの際も注意喚起をしている	引き続き行なっていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9件	件	口頭だけで忘れやすい方には文章でも伝えている	引き続き行なっていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1件	5件		過去に例がない為、方法が難しいがコロナ終息後、行なっていく方向で話しをしていく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9件	件	災害消防等のマニュアル・資料見直し作成を行った	引き続き行なっていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8件	件	年に2度避難訓練を行っている	引き続き行なっていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件	件	資料を配布	引き続き行なっていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3件	1件		過去に例なし。必要時に適宜記載、説明を行なっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	件	食物アレルギーある子の対象物を一覧を作成してある	引き続き行なっていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8件	件	都度作成しファイルに皆が見て共有出来るようにしている	引き続き行なっていく。